

# PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 03-275099

(43)Date of publication of application : 05.12.1991

(51)Int.Cl.

D06F 39/14  
A47B 81/00  
D06F 31/00  
D06F 95/00

(21)Application number : 02-075995

(71)Applicant : TOSHIBA CORP

(22)Date of filing : 26.03.1990

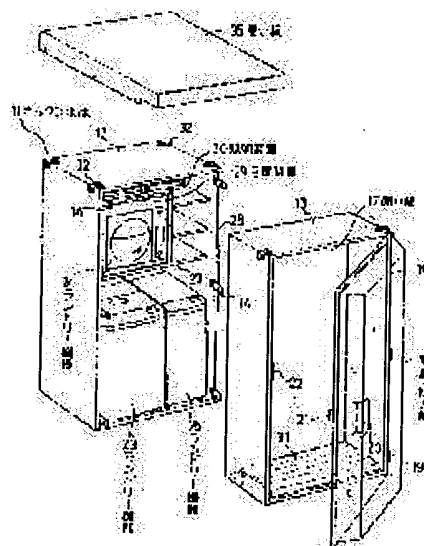
(72)Inventor : YAMASHITA KIYOSHI

## (54) LAUNDRY BOX

### (57)Abstract:

**PURPOSE:** To allow free installation place and especially for operator pleasantness in doing laundry works while preventing the equipments from uttering an operation sound and giving off unpleasant smell even in use by providing an internal space to a laundry box wide enough to house laundry equipments and for an operator to occupy his position in front of the equipments and do the laundry works with the door shut.

**CONSTITUTION:** Laundry equipments such as washer 23, dryer 24, and dehydrator or water tank 25 are housed in a box 11. When using, an operator 26 opens a door 18 and enters the box 11 at an opening 17 to the front part 13 of it, and shuts the door 18. With the door 18 shut, the laundry box has an internal space wide enough to house the laundry equipments and a working space A for an operator to occupy his position in front of the equipments and do the laundry works. Thus, the operator 26 can occupy his position in the laundry box and do the desired laundry works with the door 18 shut.



## LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than

the examiner's decision of rejection or  
application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's  
decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's  
decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

⑨ 日本国特許庁(JP)

⑩ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報(A)

平3-275099

⑮ Int. Cl.<sup>5</sup>

D 06 F 39/14  
A 47 B 81/00  
D 06 F 31/00  
95/00

識別記号

庁内整理番号

B 7633-3B  
Z 7214-3K  
7633-3B  
6681-3B

⑬ 公開 平成3年(1991)12月5日

審査請求 未請求 請求項の数 6 (全7頁)

⑭ 発明の名称 ランドリーボックス

⑯ 特 願 平2-75995

⑰ 出 願 平2(1990)3月26日

⑱ 発 明 者 山 下 清 愛知県名古屋市西区葭原町4丁目21番地 株式会社東芝名古屋工場内  
⑲ 出 願 人 株 式 会 社 東 芝 神奈川県川崎市幸区堀川町72番地  
⑳ 代 理 人 弁 理 士 佐 藤 強 外2名

明 細 書

1 発明の名称 ランドリーボックス

2 特許請求の範囲

1. ランドリー作業者が出入りするための開口部を有するボックス本体と、このボックス本体に上記開口部を開閉するように設けられた扉とを具備し、この扉を閉じた状態での全体の内部空間の広さを、ランドリー機器が収納可能で且つ前記作業者がそのランドリー機器の前方に位置してランドリー作業可能な作業空間に設定したことを特徴とするランドリーボックス。

2. 内部の空調をする空調装置を具備したことを特徴とする請求項1記載のランドリーボックス。

3. 内部の照明をする照明装置を具備したことを特徴とする請求項1記載のランドリーボックス。

4. 外部から内部へ採光する採光部を具備したことを特徴とする請求項1記載のランドリーボックス。

5. 全体の上面部を覆う覆い板を具備したことを特徴とする請求項1記載のランドリーボックス。

6. 作業空間を拡張可能に構成したことを特徴とする請求項1記載のランドリーボックス。

3 発明の詳細な説明

[発明の目的]

(産業上の利用分野)

本発明はランドリー機器を収納して且つランドリー作業できる空間を配したランドリーボックスに関する。

(従来の技術)

従来より、洗濯機等のランドリー機器は、一般に屋内の洗面所の片隅や風呂場等に設置されており、又、屋外のベランダ等に設置されることも少なくない。これには種々の理由があるが、その一つとして、ランドリー機器を使用するときの運転音や特有の不快な匂いが他の部屋に漏れたり、あるいは屋内に侵入するという憂いがある場合等が考えられる。しかしながら、かといって、上述の各所はランドリー作業(一般には家庭の主婦)が作業するには、温度、湿度、天候等の面で決して良い環境とはいえず、時としてつらい作業が強

いられることになっていた。

これに対して、実開昭50-45157号公報に示されるものが存在する。これは、第8図に示すように、一側部に袖袋1を有し上部に天袋2を有する前面開放形のボックス3であって、その内部に洗濯機4を、上方の天袋2との間に洗剤の投入をしたり洗濯物の出し入れをするスペース5を余して収納するようになっている。

(発明が解決しようとする課題)

上述のものによれば、洗濯機4をある程度体裁良く設置することができる。しかしながら、ボックス3に収納しただけの洗濯機4からは、使用中の運転音や匂いがそのまま外部に漏れる。このことから、洗濯機4はボックス3に収納するといっても、やはり前述の屋内の洗面所の片隅や風呂場あるいは屋外のベランダ等に設置するしかなく、ランドリー作業者の作業環境を改善できるまでに至っていない。

なお、上述の問題点を解決しようとする場合、一般には、ボックス3の前面の開放部に扉を設け

て、その開放部を閉鎖できるようにすることが考えられる。しかしながら、そのように考えたものでも、洗濯機4を使用する都度、あるいは作業時には、扉を開けた状態で作業せねばならず、やはりこの場合、洗濯機使用中の運転音や匂いがそのまま外部に漏れるという問題を生じてしまう。

本発明は上述の事情に鑑みてなされたものであり、従ってその目的は、使用中でもランドリー機器から発せられる運転音や不快な匂いが極力漏れることなくして、設置場所を自由に、特にランドリー作業者が快適に作業できるところに設定でき、加えてその内部の環境自体種々の面で改善でき、更に屋外に設置しても問題なく使用できるほか、不使用時に邪魔になること等もない優れたランドリーボックスを提供するにある。

[発明の構成]

(課題を解決するための手段)

上記目的を達成するために、本発明のランドリーボックスは、ランドリー作業者が出入りするための開口部を有するボックス本体と、このボッ

クス本体に上記開口部を開閉するように設けられた扉とを具備、この扉を閉じた状態での全体の内部空間の広さを、ランドリー機器が収納可能で且つ前記作業者がそのランドリー機器の前方に位置してランドリー作業可能な作業空間に設定したものである。

この場合、内部の空調をする空調装置を具備すると良い。

又、内部の照明をする照明装置を具備すると良い。

更に、外部から内部へ採光する採光部を具備すると良い。

加えて、全体の上面部を覆う覆い板を具備しても良い。

そして、作業空間を拡張可能に構成しても良い。

(作用)

上記手段によれば、扉を閉じた状態でのランドリーボックス全体の内部空間の広さを、ランドリー機器が収納可能で且つ作業者がそのランドリー機器の前方に位置してランドリー作業可能な作業空間に設定したのであるから、ランドリー作業

者は扉を閉じた状態のランドリーボックス内部に位置してランドリー作業を行なうことができる。この場合、扉は閉じたままできることから、内部のランドリー機器から発せられる運転音や不快な匂いもそのまま外部に漏れない。

内部の空調をする空調装置を具備したもので、ランドリーボックス内部のいわゆる作業空間の温度、湿度を調整して更に快適にでき、匂いも消去することができる。

又、内部の照明をする照明装置を具備したものは、作業空間の明るさを常に確保することができる。

更に、外部から内部へ採光する採光部を具備したもので、作業空間の明るさを有効に確保することができる。

加えて、全体の上面部を覆う覆い板を具備したもので、屋外に設置しても、ボックス本体の合わせ目やボックス本体と扉との合わせ目部分等から埃や雨水等が没入する問題をより確実に防止して常に快適にランドリー作業することができる。

そして、作業空間を拡張可能に構成したものは、ランドリーボックス内部の広さを任意に設定できるほか、特には不使用時に縮めることによって、設置場所の占有スペースを少なくすることができる。

(実施例)

以下、本発明の一実施例につき、第1図ないし第5図を参照して説明する。

まず第1図に全体を示すボックス本体11は、開放部を前面部にのみ有する縦長矩形箱状の本体後部12と、開放部を前面及び後面の両部に有する縦長矩形枠状の本体前部13とから成っており、その双方とも、木やスチールあるいはプラスチックにより作製している。又、本体後部12に、本体前部13は、第2図及び第3図に示す接合板14を周明の数箇所に宛てて、それぞれねじ15、16により止めることによって、接合しており、この本体前部13の前面の開放部をランドリー作業者出入り用の開口部17としている。

これに対して、扉18は開口部17と合う矩形

状を成すものであるが、少々深みのある偏平箱状を成しており、全体に透明や半透明のプラスチックにより作製することによって、外部から内部へ採光する採光部としている。この扉18を、前記ボックス本体11の開口部17右側縁部に複数のヒンジ19によって固着することにより、開閉可能に設けている。又、扉18の左側部には把手20を設けると共に、爪21を設け、この爪21に対し、ボックス本体11の開口部17左側縁部には、扉18の閉鎖時に爪21が弾接的に係合して扉18をその閉鎖状態に保持する爪受け22を設けている。

ここで、扉18を閉鎖した状態で、該扉18及びボックス本体11から成るランドリーボックス全体の内部空間の広さは、第1図に示す洗濯機23や乾燥機24、更には脱水機あるいは貯水槽25といったランドリー機器が収納可能で且つ第4図に示すランドリー作業者26がそのランドリー機器の前方に位置して作業可能な作業空間Aとして設定している。

なお、ボックス本体11の本体前部13内部には、第1図に示すように、水平仕切板27を設けると共に、この水平仕切板27上の右側部に位置して整理棚28を設けており、この水平仕切板27上の整理棚28隣の位置に乾燥機24を収納し、水平仕切板27の下方に洗濯機23と脱水機あるいは貯水槽25を収納するようにしている。又、本体後部12の乾燥機24収納部の背壁部には、第4図に示すように、乾燥機24のための吸気、排気をする通気孔12aを必要なだけ形成している。

ボックス本体11の本体前部13内部にあって、乾燥機24上方の位置には、冷房、暖房、除湿及び空気清浄機能を有する空調装置29を設けており、これの前方部には照明装置である蛍光灯30を設けている。

更に、扉18の内底面部には、ランドリー作業者26が乗って作業できる強度充分な敷板31を設けており、加えて、ランドリーボックスの全体に対しては、ボックス本体11に第5図に示す複

数の取付板32やねじ33、34により取付けられて全体の上面を覆う覆い板35を設けている。

さて、上述のごとく構成したものの場合、洗濯機23や乾燥機24、並びに脱水機あるいは貯水槽25といったランドリー機器を前述のごとく収納した状態で、それらを使用するに当たっては、扉18を開けて、ボックス本体11の本体前部13内に、開口部17からランドリー作業者26が入り、扉18を閉じる。この扉18を閉じた状態で、ランドリーボックス全体の内部空間の広さは、上記ランドリー機器が収納可能で且つランドリー作業者26がそのランドリー機器の前方に位置してランドリー作業可能な作業空間Aに設定しており、従って、ランドリー作業者26は扉18を閉じた状態のランドリーボックス内部に位置して所望のランドリー作業を行なうことができる。この場合、扉18は閉じたままで良いのであるから、内部のランドリー機器から発せられるモータ運転音とか水音等の騒音や不快な匂いはそのまま外部に漏れ出ない。従って、このものにおいては、ラ

ランドリー機器を屋内の洗面所の片隅や風呂場あるいは屋外のベランダといった環境の悪い箇所以外の、特にランドリー作業員 26 にとって作業環境の良いところ、例えば従来設置が不向きであった人が居住する場所などに設置できるもので、作業をしやすくすることができる。又、運転音を外部にそのまま出すことがなく、漏れ出たとしても極めて軽減できることから、夜間での使用とか近隣周囲への騒音を気にすることなく自由な時間帯にランドリー作業を行なうことができる。

なお、以上に加えて、特に上記構成のものでは、内部の空調をする空調装置 29 を具備していることから、ランドリーボックス内部の温度、湿度といった作業空間 A の環境条件を改善し得、更に匂いも消去できるから、作業を一段としやすくできる。又、この場合、ランドリーボックス内部の温度、湿度といった環境条件を改善できることにより、ランドリー機器の寿命を長く延ばすこともできる。

更に、内部の照明をするである蛍光灯 30 (照明装置) を具備したことにより、ランドリーボック

ス内部の明るさを常に十分に確保することができ、ランドリー作業員 26 にとっての作業環境を一層良くできる。

又、外部から内部へ採光する採光部 (透明や半透明の扉 18) を具備したことにより、ランドリーボックス内部の明るさを有効に確保することができる。

そして、全体の上面部を覆う覆い板 35 を具備したことにより、屋外に設置しても、ボックス本体 11 の合わせ目やボックス本体 11 と扉 18 との合わせ目部分等から埃や雨水等が浸入する問題をより確実に防止して使用することができる。

第 6 図は本発明の異なる実施例を示したもので、ボックス本体 11 の特に本体前部を蛇腹状のもの 36 とすることにより、ボックス本体 11 を拡張可能に構成したもので、このようにすることにより、ランドリーボックス内部の広さ、即ち作業空間 A をランドリー作業員 26 の体型や外部スペースの広さ等に合わせて任意に設定できるほか、時には不使用時にそれを縮めることによって、設置

場所の占有スペースを少なくすることができ、邪魔になることがない。なお、この場合、蛇腹状の本体前部 36 の底部は、開放構造にしている、ランドリー作業員 26 を本体前部 36 の伸縮に関係なくランドリー機器から一定の床面 37 上の位置に立たせるようにしており、又、その開放部周縁には、床面 37 と弾性接触するひれ状のシール 38 を設けて、外部との遮断性を一定に保つようにしている。

上記ボックス本体 11 の拡張可能な構成は、蛇腹状に代えて、本体後部 12 に対して本体前部 13 を前後にスライド可能に組むことによって達成するようにしても良い。

第 7 図は本発明の更に異なる実施例を示したもので、ボックス本体 11 の内面にウレタンやゴムシート等から成る制振材 39 を貼着して、音の漏れを更に少なくし、振動の発生も効果的に抑止できるようにしたものである。この場合、扉 18 の全体が透明又は半透明で採光部となっていることから、該扉 18 の内面には制振材 39 を貼着する

ことは避けているが、その採光部は扉 18 の一部、あるいはボックス本体 11 の一部に例えば窓のごとく設けるようにしても良いもので、このような場合には、扉 18 の内面にも制振材 39 を貼着することによって、音漏れ防止効果並びに振動の発生抑止効果を更に高めることができる。又、制振材 39 はボックス本体 11 や扉 18 の外面に貼着するようにしても良く、更にそのボックス本体 11 や扉 18 自体を、樹脂製制振シートを挟み込んだような制振材で構成するようにしても良い。

加えて、ボックス本体 11 は本体後部 12 及び本体前部 13、36 に分けて、全体を一つで構成するようにしても良い。更に、扉 18 は扁平箱状を成すものに限られず、平坦なものやアコーディオンタイプのものであっても良いもので、その開閉構造も両開き式など前述とは異なるものであっても良い。又、ボックス全体として家屋の室壁に埋込むいわゆるビルトインタイプとしても良い。

[発明の効果]

本発明のランドリーボックスは以上説明した  
とおりのもので、下記の効果を奏する。

ランドリー作業者が出入りするための開口部を  
有するボックス本体と、このボックス本体に上記  
開口部を開閉するように設けられた扉とを具え、  
この扉を閉じた状態での全体の内部空間の広さを、  
ランドリー機器が収納可能で且つ前記作業者がそ  
のランドリー機器の前方に位置してランドリー作  
業可能な作業空間に設定したことにより、使用中  
でもランドリー機器から発せられる運転音などの  
騒音や特有の匂いが漏れずし、あるいは極めて軽  
減できて、設置場所を自由に、特にランドリー  
作業者が快適に作業できるところに設定でき、作  
業環境の大幅な改善を達成することができる。又、  
夜間での使用とか近隣周囲に対しても、作業を気  
にすることなく行なわしめることができる。

内部の空調をする空調装置を具えたことにより、  
作業空間の温度、湿度を調整して更に快適にでき、  
匂いも消去することができる。又、ランドリー機  
器の寿命を長く延ばすこともできる。

内部の照明をする照明装置を具えたことにより、  
ランドリーボックス内部の明るさを常に十分に確  
保することができ、ランドリー作業者にとっての  
作業環境を一層良くできる。

外部から内部へ採光する採光部を具えたことによ  
り、ランドリーボックス内部の明るさを有効に  
確保することができる。

全体の上面部を覆う覆い板を具えたことにより、  
屋外に設置しても、ボックス本体の合わせ目やボ  
ックス本体と扉との合わせ目部分等から埃や雨水  
等が浸入する問題をより確実に防止して使用する  
ことができる。

ボックス本体を拡張可能に構成したことにより、  
ランドリーボックス内部の広さ、即ち作業空間を  
ランドリー作業者の体型や外部スペースの広さ等  
に合わせて任意に設定でき、又、特に不使用時  
にそれを縮めることによって、設置場所の占有ス  
ペースを少なくすることができ、邪魔にならない。

#### 4 図面の簡単な説明

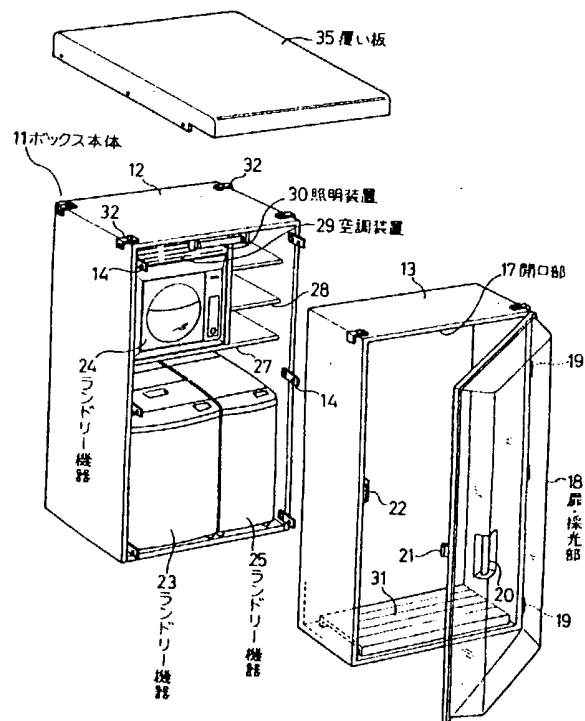
第1図ないし第5図は本発明の一実施例を示

したもので、第1図は全体の分解斜視図、第2図  
は同横断面図、第3図はボックス本体の接合部分  
の拡大横断面図、第4図は全体の縦断側面図、第  
5図は覆い板部分の縦断正面図である。又、第6  
図は本発明の異なる実施例を示した第4図相当図、  
第7図は本発明の更に異なる実施例を示した第4  
図部分相当図、第8図は従来のものの全体の斜視  
図である。

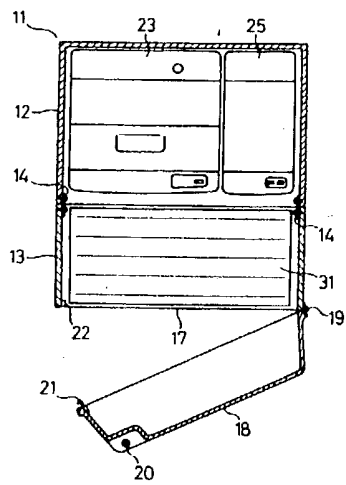
図面中、11はボックス本体、17は開口部、  
18は扉、23は洗濯機（ランドリー機器）、2  
4は乾燥機（ランドリー機器）、25は脱水機あ  
るいは貯水槽（ランドリー機器）、26はランド  
リー作業者、29は空調装置、30は蛍光灯（照  
明装置）、35は覆い板、36は本体前部、Aは  
作業空間を示す。

出願人 株式会社 東 芝

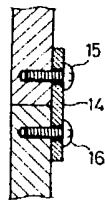
代理人 井理士 佐藤 強



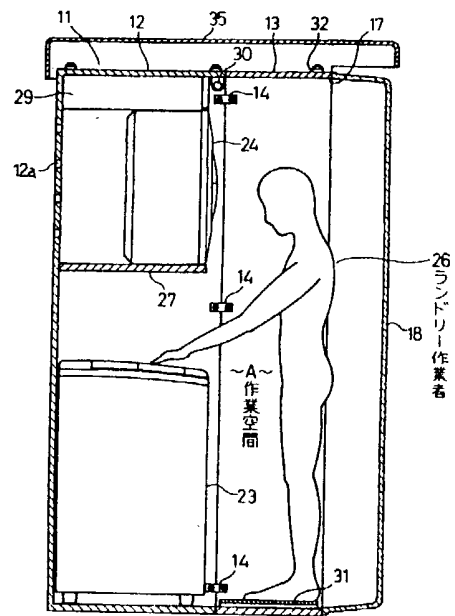
第1図



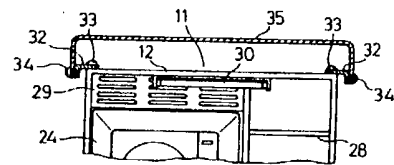
第 2 図



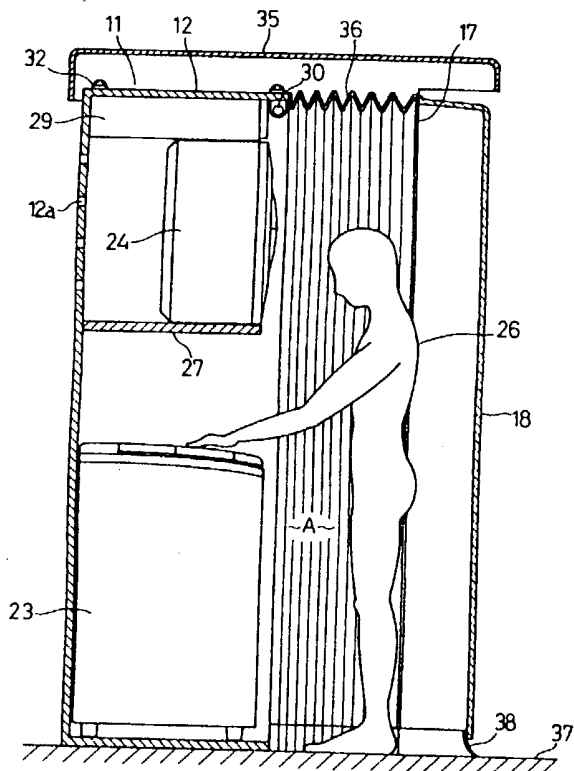
第 3 図



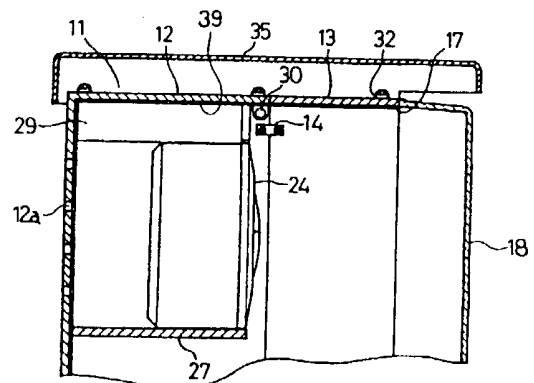
第 4 図



第 5 図

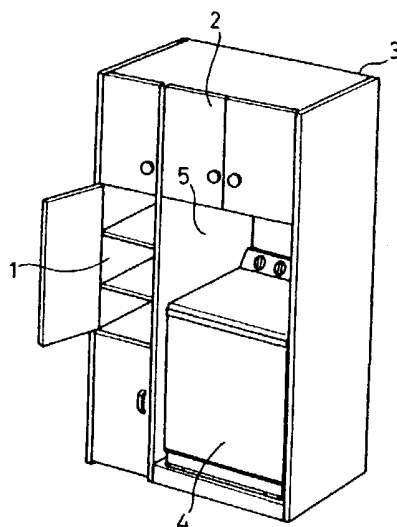


第 6 図



第 7 図





第 8 図